



マーク：福田 常雄 氏

ふじみ

第176号

令和6年2月10日

社会福祉法人みちのく協会
 理事長 工藤 和子
 特別養護老人ホーム富士見荘
 ケアハウスアーベイン八幡平
 松尾デイサービスセンター
 富士見荘指定居宅介護支援事業所
 富士見荘指定訪問介護事業所
 地域密着型介護老人福祉施設はらからの里

岩手県八幡平市松尾奇木第11地割13番地1
 電話 0195(78)2455(代) FAX 0195(78)2467
 E-mail info@michinoku.or.jp
 URL https://michinoku.or.jp

「初春を迎えて」

社会福祉法人みちのく協会
 理事長 工藤 和子

初春を迎えて、例年とは違い、雪が少なく陽だまりの温もりを感じられる立春を迎えております。今年も社会福祉法人みちのく協会の事業運営につきましましては、地域の皆様、ご利用者様、ご家族様からのご理解とご支援をいただきながら、地域の皆様の安心した暮らしへのお手伝いが出るよう進めて参ります。

昨年五月に五類に移行した新型コロナウイルスですが、今年に入っても散発的に感染者が発生していることから、面会規制等の感染対策を継続して行わざるを得ない状況となっております。ご利用者様、ご家族様には、その都度、ご理解とご協力を頂きながら対応させて頂いており、心から感謝いたしております。引き続き、感染対策を徹底してご利用者様の健康をお守りしたいと思っております。

今年の干支は、唯一架空の動物である辰年です。天に上る龍をイメージして、上り調子になると言われています。辰年にあやかり、今年こそ、地域の皆様との交流、施設行事もご家族様をお招きして開催したいと思っております。今年も地域の皆様のご協力、ご支援を賜りますよう、どうぞ宜しくお願い申し上げます。



五穀豊穰・無病息災 穏やかな一年になりますように

愛

社会福祉法人 みちのく協会 基本理念

社会福祉法人みちのく協会の基本理念は「愛と献身」です。利用者一人ひとりの気持ちを大切にし、心をこめた介護をいたします。

筆流

題字 関口作治氏

特別養護老人ホーム富士見荘～冬の行事

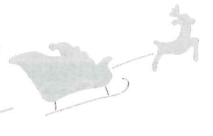
収穫祭

令和5年11月1日、富士見荘の「収穫祭」を開催しました。このお祭りは、2年前の「かぼちゃ祭り」が始まりで、新型コロナウイルス感染症が蔓延して面会や外出が規制されるようになり、ご入居様にさみしさを紛らわせていただこうと職員が企画して始まりました。今では季節の恒例行事となり「さんまの丸焼き」を目玉企画として毎年晩秋に開催しています。ホールに秋野菜を展示して季節感を演出し、昼食に栗ご飯と芋の子汁を添えて召し上がって頂いております。もちろん、ほとんどのご入居様が完食され、ご入居様には大変喜ばれております。



特別養護老人ホーム
富士見荘

☎ (0195)
78-2455



Xmas

毎年、12月には施設の一大イベントとしてクリスマス会を開催しています。今年は、12月20日に開催しましたが、他の行事と同様にホールに特大クリスマスツリーとリース、風船を飾ってクリスマスのメイン会場を設営。介護職員が作る恒例のクリスマスランチコンテストも同時開催。各ユニットでもリビングにプロ並みのクリスマス装飾を施し、ご入居様に楽しんでいただきました。もちろん、クリスマスケーキも作りましたよ。



謹賀新年

昨年は、新型コロナウイルス感染症が5類に移行してからも感染対策の為、面会規制を解除できずに過ごしていただきましたが、今年こそ「家内安全・無病息災」一年の幸福を願って「にらみ鯛」のお正月飾りをステージに設営しました。皆さん、健康で明るい一年になりますように。



はらからの里 クリスマス



地域密着型介護老人福祉施設

はらからの里

☎ (0195) 68-7880

紅葉ドライブ

今年の紅葉ドライブも八幡平方面に行ってきました。森の大橋を通り森の大橋付近の休憩場所に入居者様に降りて頂き岩手山や紅葉を背景に写真撮影を行いました。また時間がある時は焼走り方面に回り平笠に降りるようにドライブしました。焼走り方面に行く途中の眺めもよく「また連れてきて」と話されていました。

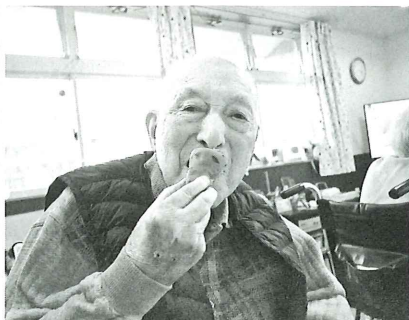
はらからの里作品展

はらからの里作品展を行いました。入居の皆様と一緒に作った作品や個人で作った作品などを展示しました。入居者様の中には職員でも細かすぎて難しい作業ができる方もいて見に来た利用者の方は「きれいだ、よくやった」と感心されていました。



焼き芋行事

十一月八日に焼き芋行事を行いました。サツマイモを包むのは入居の皆様を手伝って頂き、焼くのは職員が中庭で炭をおこし焼きました。中庭の焼くのを見ている方は「おいしそうだな」と話されていました。とても甘くて美味しかったです。



【基本方針】

いつまでも元気で自立した生活が送れるように、身体・脳・心が健康になるようなサービスを提供します

「身体」…… 機能訓練、リハビリ

「脳」……… 会話、レクリエーション

「心」……… 入浴、出会い

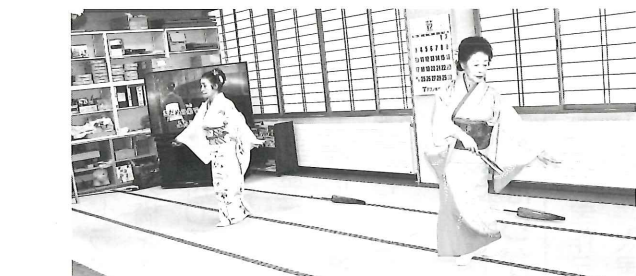
松尾デイサービスセンターでは、12月は忘年会、1月は新春どっぴき大会を開催し、皆様と楽しいひと時を過ごしました。今回はそれぞれの様子を紹介したいと思います。

新型コロナウイルスが流行してから慰問行事等を中止していましたが、「踊りが見たい」「歌が聞きたい」など皆様からのご要望もあり、約4年ぶりに慰問を呼んで「忘年会」を開催しました。歌や踊りを楽しむことができたのはもちろん、地域の方と久しぶりに会う方もいて、喜びの声が多く聞かれました。曜日によってはゲームの日もありましたが、今年こそ地域の皆様とお会いできるような企画がどんどん増えるといいなと願っています。ちなみに、忘年会ではくじ引きを行い、皆様に景品が当たる企画を行っています。どんな景品が当たるのかはお楽しみです。

松尾
デイサービス
センター

☎ (0195)

78-3720



新しい年を迎え、最初の行事となる「新春どっぴき大会」。どっぴきは、人数分の紐を用意して、紐の先に鈴等、飾りを付けて、それを引いた人が当たりというものです。かけ声や鈴等の音がホールに響き、とても賑やかでした。親をやる職員が利用者様から紐の持ち方について「こうですか?」「いや、こうやるんだよ!」「そうじゃなくて……」と教えてもらう場面もありました。景品は、チョコや甘納豆など小袋のお菓子、マスクを用意しました。何度も当たる強運の持ち主も数名。その反面、なかなか当たらない利用者様もいるので、職員は「当たりますように、当たりますように」とパワーを送っていました。



今年も皆様の笑顔が溢れるデイサービスを目指し、多くの方にご利用頂ければと思います。

見学やお試し利用もできますので、ご相談お待ちしております。

リゾート型ケアハウス アーベイン八幡平

☎ (0195)
78-2710

コロナウイルスと信用

コロナウイルスについては、最近増加傾向にあり、ますます注意が必要となってまいりました。当施設におきましても、令和五年に入居者十四名が感染いたしました。感染対策については、充分に行っていたつもりですが感染を防げなかったのが現状です。

そこで、ふと思ったのですがコロナウイルスの感染者が発生したときは、どのような対応を行っていくのが良いのかと考えさせられました。

まずは、当たり前のことですが、感染者を増やさないように対応していくこと（様々な対応があります）。

そして、特に重要なのは、情報発信ではないかと思いましたが、もちろん、感染者が出ないのには、大切なことではありますが、感染者が発生した際は、情報を速やかに発信することが信頼につながるのではないのでしょうか。

昨今、自動車業界では、様々な不正が発覚し大変な事態となっていることを考えると、問題となるのは、隠ぺい体質や虚偽の報告ではないのでしょうか。

どの社会や業界でもそうですが、報告しづらい体質や相談されたことに対して真摯に対応できない人間関係だと、大きな問題が発生するのではないのでしょうか。これには、言葉だけではなく表情やしぐさも含まれます。

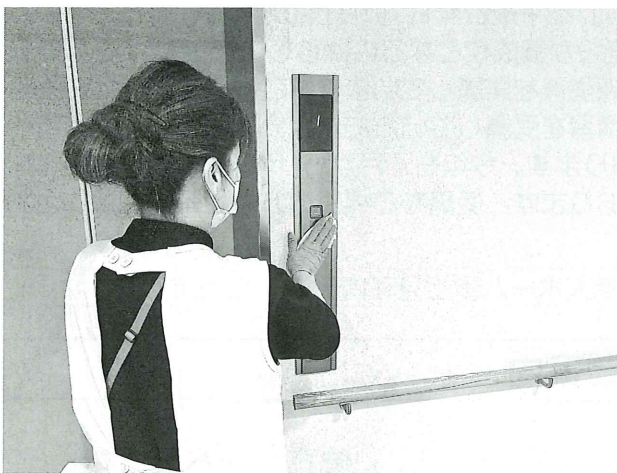
もう一つ、コロナ禍で感じたのが、面会を極力止めないことで、入居者や家族との距離が縮まっ

たと感じられることです。これについては、様々なご意見があることは、十分承知しております。当施設では、コロナウイルスを持ち込むのは、家族より職員の方が確率的に多いと判断し、そのような状況で家族や親族にだけ制限できるのかということから、コロナウイルス感染者のクラスターが治まった際は、できるだけ早く面会を再開いたしました。

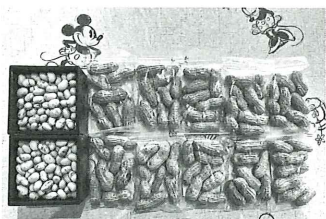
面会については、入居申し込みの際にも家族から多くの意見が寄せられ、面会制限を極力しない施設を探しているという入居希望者やご家族が多いうらっしゃったことも事実です。

コロナウイルスが第五類へと変わった後も、基本的な感染対策は、変わらず継続しております。

余談ではありますが、当施設には男性四名と、女性十六名の合計二十名の職員が働いておりますが、コロナウイルスに感染したのは、男性四人（全滅）、女性職員二名となっております。「男はやっぱり弱いなあ」と言われております。



共有部分の日々の消毒作業



7個入りの豆の袋と福豆



鬼を追い払う園児

節分

何年ぶりでしょうか、柏台保育所の園児を招いて、節分の豆まきを行いました。

アーベイン八幡平の鬼は、とても怖く泣いている園児が、ちらほらと見受けられました。（少し怖すぎたかなと後悔……）

入居者の皆様は、園児のお遊戯をみて、豆まきを一緒に行い多くの元氣と幸福感をいただき、とても喜んでおられました。柏台保育園の園児の皆様と先生方に感謝申し上げます。

今年の豆は、一袋に七個ずつ入っており、重量感があり鬼役の職員は、豆の袋が当たると、とても痛い思いをしており、どちらが鬼なのかよくわからない状態となってしまいました。

社会福祉法人みちのく協会
役員のご紹介

笹 森 忠 知 (八幡平市)	西 館 政 美 (盛岡市)	中 軽 米 こ う 子 (八幡平市)	佐 々 久 幸 (滝沢市)	高 橋 京 一 (八幡平市)	立 柳 秀 範 (八幡平市)	平 山 順 子 (八幡平市)	道 尻 和 彦 (八幡平市)	藤 田 昭 利 (花巻市)	監 事 中 軽 米 明 彦 (八幡平市)	高 橋 邦 尚 (盛岡市)	中 川 剛 一 (矢巾町)	理 事 葛 行 彦 (八幡平市)	田 代 貴 典 (八幡平市)	常 務 理 事 箱 石 裕 (八幡平市)	理 事 長 工 藤 和 子 (八幡平市)
----------------------------	---------------------------	--------------------------------------	---------------------------	----------------------------	----------------------------	----------------------------	----------------------------	---------------------------	---	---------------------------	---------------------------	---------------------------------	----------------------------	---	---

みちのく協会の人材育成事業のご紹介

みちのく協会では、職業人としての介護職員の養成と働きながら資格取得ができる環境を整備することを目的として平成24年に「介護職員初任者研修(旧ヘルパー2級)」を平成27年に「介護職員実務者研修」といった介護福祉士の養成施設としての指定を取得しました。介護施設が養成校となるのは珍しいことでした。以降、毎年、介護職員初任者研修及び介護職員実務者研修の教育訓練講習を開講しています。これまで延べで、初任者研修受講者125名、実務者研修受講者132名の方に教育訓練講習を受講していただき、介護福祉士の国家資格を取得するなど、多くの方に介護のお仕事で活躍して頂いております。今年も4月から「介護職員実務者研修」を6月から「介護職員初任者研修」を開講する予定になっております。受講をご検討の方は、是非お問い合わせください。

お問い合わせは、0195-78-2455 特別養護老人ホーム富士見荘内 研修担当まで

スタッフ募集のご案内

勤務先：特別養護老人ホーム富士見荘(松尾寄木)
ケアハウスアーベイン八幡平(柏台)
地域密着型介護老人福祉施設はらからの里(野駄)

職種：介護職員及び生活相談員

※どの施設もご入居様のお部屋は個室となっており、個々の生活に合わせた介護サービスを提供しています。ご入居様様の身体状況に合わせた生活リズムを組み立て、健康を支えることが主な仕事になります。介護職員については、経験を問いません。働きながら資格取得(スキルアップ)することが出来ます。生活相談員については、これまでの経験や知識を生かして、より良い施設運営に向け一緒に働くことが出来る方をお待ちしています。

0195-78-2455 担当：法人本部事務局

編集後記

表紙の写真は、富士見荘でのコロナ感染が収束した1月29日に撮影したものです。

小正月にできなかった「水木だんご」を飾り付けして、ご入居様と一緒に今年一年の「家内安全・無病息災」を祈念しました。災害やコロナで悲観的にならず、今ある幸せを大切に、前向きに明るく過ごす一年にしたいと思います。(松)

私も働きながら介護福祉士の資格を取得しました



個人のお部屋があり、自宅にいるような環境で、ご入居者一人一人に合わせた生活をサポートしています。ぜひ一緒に働いてみませんか。